

# JPPMA

Japan Pet Products Manufactures Association

## Briefs

### 創刊のご挨拶

一般社団法人 日本ペット用品工業会  
会長 林 明雄

待望の当工業会広報誌の発刊にあたり、ご挨拶申し上げます。

当工業会の健全な運営は皆様のご協力、ご支援の賜物と感謝申し上げます。さらに会報の創刊号を皆様に今回お届けできますことを大変嬉しく思っております。



昨年6月に社団法人化され、より大きくなった当工業会の社会的責任を果たし、当工業会の運営が更に活発なものになるよう、会員各社との情報公開や伝達、親睦が一層うながされるよう努力をつくす所存で

ございます。

当工業会の会報誌として、年4回の発行を予定しており工業会からの連絡事項や会員紹介をはじめ、ペットに関する法律やの紹介やニュースなどの情報を紹介して参ります。

また、皆様からの投稿を受け付け、工業会と会員各社との相互の情報公開の場として参ります。

少子化、高齢化、核家族化により、また特に昨今の厳しい経済情勢の影響でペット飼育の減少が予想されるなか、当工業会のみならずペット産業界全体で、ペット飼育による精神的効用や医学的な効用などを啓蒙し、ペット飼育の普及を行いたく思います。

刊行にあたって、会員各社の皆様との結びの場として大きな役割を果たすものとなりますよう、長く会員各社のお力添えを賜りたくお願い申し上げます。

末筆になりますが、発刊に当たりご協力をいただきました皆様へ心からお礼申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

### 目次

JPPMA だより…2頁～4頁

一般社団法人日本ペット用品工業会とは…2頁  
組織図紹介…2頁  
役員紹介…3頁～4頁  
部会・委員会委員紹介…4頁

JPPMA トピックス インフォメーション…5頁～8頁

7.23 東京會館 JPPMA 定時総会開催…5頁  
会員証、入会案内一新、8月完成…5頁  
広報誌 第2号冬号は2011年1月予定…6頁  
ホームページも一新して9月より公開…6頁  
ペット用品統一表示ガイドライン第2期策定事業進む…6頁  
適合マークの使用登録500社を目指し解説書・使用マニュアルを制作…6頁  
第1回ペット用品取扱士検定試験、来年3月実施…7頁  
第9回ペット用品の産業実態統計調査実施…7頁  
10/13 第4回経営研究会開催 講演会など企画多彩…7頁  
2011ジャパンペットフェア開催説明会150名が参加…7頁  
出展企業絶賛募集中 「JPFカップ」デザイン完成…8頁  
ペットとの共生推進協議会設立へ最終段階へ…8頁

<http://www.jppma.or.jp>



一般社団法人 日本ペット用品工業会会報 **創刊号**

## 一般社団法人日本ペット用品工業会とは

日本ペット用品工業会は1985年2月1日設立された、25年の歴史あるペット用品の国内唯一の団体である。日本ペット用品工業会は、犬猫、観賞魚、小鳥、小動物、昆虫、爬虫類というペット7カテゴリーにわたる分野においてペット用品(ペットフードを含む)を製造及び輸入する企業団体として、「より良いモノを」、「より適切に」、「より安全に」を基本テーマに発足いたしました。そして交易活動の推進と社会貢献を果たすべく、昨年6月、一般社団法人資格を取得し「一般社団法人日本ペット用品工業会(JPPMA)」として新たに発足した。ペット用品・フードの製造、輸出入を通じてペットに快適な環境を提供し、更に人とペットの健全なライフスタイル並びに育成マナー向上啓蒙に大きな関わりを持つ重要な責務を担って社会に大きく貢献していく。

主な事業は、ジャパンペットフェアの開催、ペット用品統一表示ガイドラインの策定、ペット業界の次世代育成、ペット産業実態調査、ペット用品取扱士制度…等々である。

ジャパンペットフェアは1986年に第1回を開催した。以後2年に1回開催を継続し、今回は2011年が開催月で、3月24日～27日の4日間、幕張メッセの開催する。この開催で第13回目を迎える。商談日・一般公開日を設けて、ペット関連企業にとってはビジネスチャンスの提供の場として、また一般の人々にはペットとの交流の場として、有意義なイベ

ントを提供している。今回は2011年開催致します。

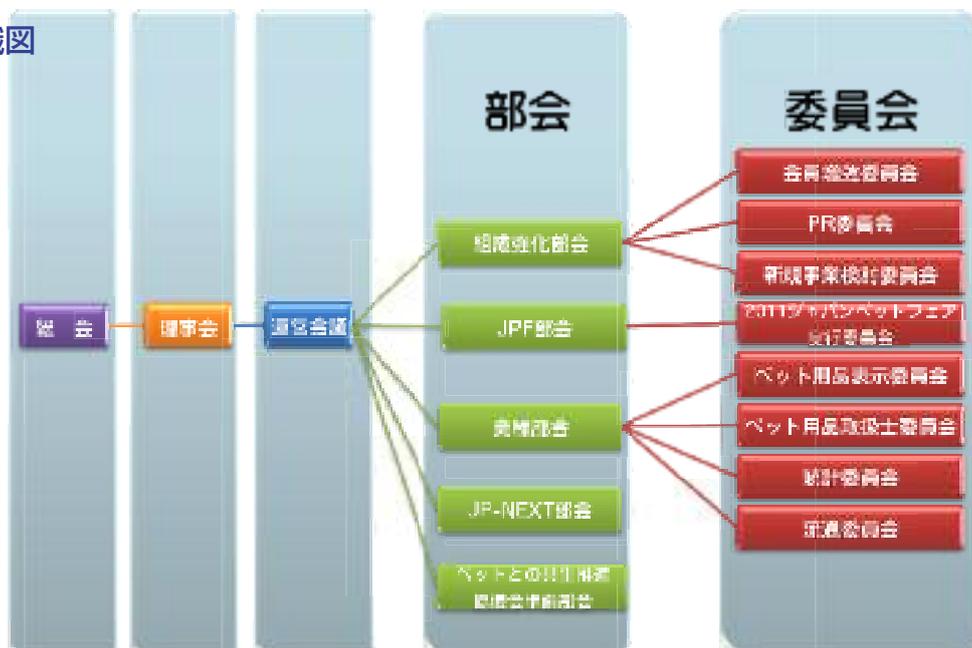
ペット用品統一表示ガイドラインの策定事業は、消費者の方々に「より安全」、「より安心」なペット用品を提供するための第一歩として、表示の統一化を図ろうというもの。家庭用品品質表示法を参考に、ペット用品を犬猫、観賞魚、爬虫類、小鳥小動物、昆虫の7つのカテゴリーに分け、更に用品の特性に応じて統一表示を「一般社団法人日本ペット用品工業会基準」として取決めた。目的は、消費者が使用するペット用品の品質に関して、表示すべき事項やその表示方法等を定めて、その商品の品質表示を適正で分かりやすくすることにより、消費者利益を保護することである。

ペット業界の次世代育成事業を行う「JP-NEXT」は、若手経営者及び次世代経営幹部の勉強、育成、交流を目的に、小売業、卸業、製造業という業態を越えて集い、活動するペット業界における次世代育成組織である。若手経営者、若手幹部が抱えている「悩み・課題」を共有しながら解決策を探るとともに、新しいビジネスの展開を模索しているというもの。

ペット産業実態調査は過去8回実施した。それ以降は、調査方法、調査内容についてを検討し、現在第9回の実施に向けて準備している。

ペット用品取扱士検定制度は、新規事業として2009年度から準備を進めており、いよいよ2011年3月には第1回検定試験を実施する運びとなっている。なお、「ペット用品取扱士」の英名をPet Goods Master」通称P.G.Mと決定した。

## JPPMA 組織図



## 役員紹介

21年度～22年度一般社団法人日本ペット用品工業会役員、一口コメントを紹介。(敬称略)

## ◀ 会長 林 明雄 ▶

ドギーマンハヤシ株式会社代表取締役会長。旧日本ペット用品工業会期、一期の会長職歴任。第1回'87ジャパンペットフェア実行委員長。

〔コメントは本誌1頁の挨拶参照〕



## ◀ 筆頭副会長 高野 怜 ▶

株式会社昭和化学代表取締役会長。組織強化部長、新規事業検討委員長、流通委員長。旧日本ペット用品工業会期の会長職歴任。第1回'ジャパンペットフェア実行委員長。

「当会が一般社団法人となってから一年を経過し(前身の会は設立25年)、初の定時社員総会を迎えました。新事務局の体制も整い、団体としてより社会性を高め、産業の拡充と会の発展を目指し、会員相互の力を集めたいものです。

今叫ばれている『ペットとの共生』には、安全安心な製品の提供が望まれ、一方『飼育の在り方、知識、対処法』等の社会的レベル(日本統一基準)の共有を具現化する事に当会の役割が問われているかと考えます。」



## ◀ 副会長 河野 民夫 ▶

寿工芸株式会社専務取締役。ペットとの共生推進協議会準備部会長。第12回'09ジャパンペットフェア実行委員長。

「日本ペット用品工業会は、前身を合わせると発足以来26年の歴史があり、ペット業界で唯一の犬・猫・観賞魚・小鳥・小動物・爬虫類・昆虫等の様々な用品を取り扱っているメーカーの団体であります。ジャパンペットフェアを始めメーカー団体一つになり業界全体が発展し社会的に認知される団体となっております。今後も業界全般が成長することを第一の考えてまいります。」



## ◀ 副会長 柳原 伸明 ▶

株式会社ケーピーエス代表取締役会長。第13回'11ジャパンペットフェア実行委員長。過去10回ジャパンペットフェア実行委員会に参画。

「ジャパンペットフェアのお手伝いをきっかけに工業会とともに25年がたちました。工業会の繁栄こそ自社の繁栄につながることと信じ一生懸命頑張っています。小さな会社の代表としてペット産業の普及に邁進したいと思っております。」



～理事=氏名五十音順～

## ◀ 理事 岡田光一郎 ▶

ニッケペットケア株式会社ペット用品事業部長。表示委員長。

「表示委員会を担当しています。ペット用品統一表示ガイドラインの第2期策定が主要な活動です。小委員会、分科会のご担当者のご協力を得て、来年4月完成に向けて準備を進めているところであります。会員各位におかれましてはさらなるご協力をお願いいたします。」



## ◀ 理事 小川 泰男 ▶

株式会社共立商会代表取締役社長。業種部会長、ペット用品取扱士委員長。

「業種部会とペット用品取扱士委員長を拝命しております。今から10年ほど前になりますが、次世代育成事業を行う『JP-NEXT』の前身『JP21』に参加したことが、当会とのかかわりの第1歩でした。当時は業界も会のことも全くわからない状態でしたが、今では理事に立候補するまでになりました。会の仕事は年々複雑化、高度化し大変ですが、事務局はじめ会員の皆様に助けられながら何とか頑張っています。」



## ◀ 理事 谷 雅富 ▶

ヒルズペットニュートリション・アジア・パシフィック日本支社広報・法規本部長。会計理事。

「ペットフード業界に足を踏み入れて、約21年になります。現在、会社では、広報業務と法規関係業務を担当しています。昨年、日本ペット用品工業会が一般社団法人として認定され、組織としての社会的責任が増す中、会計担当理事として任命され身の引き締まる思いをしております。人間がおごり高ぶった結果として生まれた現在の混沌とした社会。今こそ、人は動物との共生を通して健全な心と体を取り戻すべき時だと思えます。そういう意味でペット関連産業は、真の健康産業と言えます。これからは一般社団法人日本ペット用品工業会の理事の一員として、ペット関連産業の隆盛のために少しでもお役に立てるよう頑張りたいと思えます。」



## ◀ 理事 二神 軍平 ▶

ユニ・チャーム株式会社取締役。(2010年9月1日より副社長執行役員、ユニ・チャームペットケアカンパニープレジデント)統計委員長。

「当社は、本年9月にユニ・チャーム株式会社と合併いたします。ペットケア事業をユニ・チャームグループ



の中核事業と位置付けて、ユニ・チャームグループのシナジー効果を最大限に発揮し、ペットケア事業を育成する所存です。今後も、新たなニーズに応える製品を提供していくことでペットが元気で長生きできる環境づくりに貢献するとともに日本ペット用品工業会加盟社として、『付加価値市場の創造』により、『業界総資産拡大』に貢献してまいります。』

◀ 理事 松本 博司 ▶

株式会社マルカン代表取締役会長。  
PR 委員長。



「昭和60年2月に日本ペット用品工業会として発足して以来、ペット業界の発展のため活動してまいりました。近年ペット産業に対する社会の期待や要望は大きく変化しています。そのような中で、ペット用品の『安全性』を最優先に会員企業とともに情報の交換、ペットに関する問題への対応に取り組んでまいりました。今後もペットと社会にとって意義のある団体として、ペットと共生する幸せを広く社会の人々に知っていただくために事業活動を行ってまいります。」

◀ 理事 三谷 克佳 ▶

株式会社ミタニ代表取締役社長。  
JJP-NEXT 部会長。



「一般社団法人日本ペット用品工業会の理事をさせていただいております。小動物、小鳥、昆虫業界の会員を代表として、ペット業界の発展のため精一杯頑張っておりますので、宜しくお願い申し上げます。『JJP-NEXT』の部会長としては、ペット業界の人材育成を目的とした講演会を開催して、会員会社の学びと交流の機会を作っていきたいと思っています。会員の皆様の積極的なご参加を、お待ちしております。」

◀ 理事 山田 武史 ▶

株式会社ヤマヒサ 取締役ペットケア事業部長。会員増強委員長。



「ペットの飼育ブームに伴い、業界は急激な市場拡大となって参りました。ペット用品工業会は、業界の急拡大に対応すべく、動物愛護の精神に安心・安全・快適を加えた商品供給を目的として活動を行って参りました。今後はこれらの活動に加え、やすらぎや癒し効果などペットとの共生生活の効用も訴求していきたいと考えています。業界のますますの健全な振興と発展の為に皆様方と共に頑張る所存です。どうぞ宜しくお願いいたします。」

◀ 監事 亀井 正治 ▶

アース・バイオケミカル株式会社代表取締役。監事。  
「日本ペット用品工業会の監事として、業界発展のために誠心誠意努力を致す所存でございますので、宜しくご指導ご

鞭撻の程お願い申し上げます。業界発展のためには、会員各社が切磋琢磨しつつ、お客様のためにより良い商品やサービスを提供し続けなければなりません。会員各社におかれましては、ご協力の程宜しく申し上げます。」



◀ 監事 小森 衛 ▶

ライオン商事株式会社代表取締役社長。監事。



「健全で、拡大するペット市場の創出に向けて…。少子高齢化と晩婚化で核家族化が進行する我国において、ペットとの新しい家族の姿が社会的に認知されるようになってきています。当会は、犬猫、観賞魚等々の6業種が、ペットを飼育することの効用を色々なメディアを通して発信し、少しでも国民の健康にお役に立てるよう活動を続けております。私は、監事として業務監査、会計監査を通して当会の健全な発展と市場拡大に尽力したいと考えます。」

部会・委員会委員の紹介 (敬称略)

◀ JJP-MEXT 部会 委員 ▶

委員長	三谷 克佳	(株)ミタニ
	柳原 英次	(株)ケーピーエス
	井坂 公俊	常陸化工(株)
	清水 淳史	清水電機工業(株)
	奥山察市朗	アース・バイオケミカル(株)
	浜川 弘茂	ライオン商事(株)
	田井東誠司	(株)マルジョー&ウエフク
顧問	柳原 伸明	(株)ケーピーエス

◀ JJPF 実行委員会 委員 ▶

委員長	柳原 伸明	(株)ケーピーエス
	谷 雅富	ヒルズニュートリション
	清水 淳史	清水電機工業(株)
	石橋 伸孝	(株)ベッツイシバシ
	石田 輝久	(株)トリオコーポレーション
	五味 直也	ジェックス(株)
	秋山 悟	寿工芸(株)
	加藤 裕昭	神畑養魚(株)
	高野 匠	(株)昭和化学
	笹木 伸子	(有)ベテック

◀ ペット用品取扱士委員会 委員 ▶

委員長	小川 泰男	(株)共立商会
	秋山 悟 寿工芸(株)	
	今泉	ジェックス(株)
	大曾根健史	ドギーマンハヤシ(株)
	石橋 伸孝	(株)ベッツイシバシ
	中村 敏明	(株)マルカン
	石川 秀樹	(株)ヤマヒサペットケア事業部

◀ 表示委員会 委員 ▶

委員長	岡田光一郎	ニッケペットケア(株)
	福井 邦茂	ジェックス(株)
	竹内 宏次	(株)三晃商会
相談役	川上 和樹	(株)キョーリン

## 7.23 東京會館 JPPMA 定時総会開催 全議案可決、質疑応答で活発な議論

7月23日午後2時～午後4時、浜松町東京會館オリオンルームにおいて一般社団法人日本ペット用品工業会定時社員総会開催が開催された。

山田理事の司会により進行、まず高野筆頭副会長より開会の挨拶が行われた。

「本日出席者 名、委任状 名合計 名により定款の定めにより本日の総会は成立いたしました。

」  
続いて会を代表して林会長の挨拶があった。(挨拶要旨)

」

### 衆議院議員・城島顧問

#### 経産省日用品室・高辻室長が来賓あいさつ

次に来賓として招かれた一般社団法人日本ペット用品工業会顧問・城島光力衆議院議員、担当官庁である経済産業省製造産業局日用品室・高辻育史室長より、それぞれの挨拶があった。

城島議員

」

高辻室長

」

この後、感謝状贈呈に移り、高原前筆頭副会長、河野前ジャパンペットフェア実行委員長、川上前業種統括部長

の3名の功績を称えた。

入退会者は山田会員増強委員長から以下が報告された。

### 【新規加入会員】

株式会社エヴァリス（平成21年11月入会）

住商アグロインターナショナル株式会社（平成22年3月入会）

ラジオシステムズコーポレーション（平成22年6月入会）

### 【退会会員】

株式会社ジャンプ、株式会社サンライズ、株式会社テラオコーポレーション

以上をもって議案審議に移り、定款の定めにより林会長が議長に選出された。議事は議案書に基づき進められ、第1号議案・第1期（平成21年度）事業および活動報告の件、第2号議案・1期（平成21年度）決算報告の件、第3号議案・第1期（平成21年度）会計監査報告の件、第4号議案・第2期（平成22年度）事業計画案承認の件、第5号議案・第2期（平成22年度）予算案承認の件、第6号議案定款一部変更の件、第7号議案 運営細則一部変更の件、以上7件について審議され出席者多数で承認された。

なお、この中で承認を受けた事業計画の基本線は、「より良いモノを」「より快適に」「より安全に」を基本テーマとして、社会貢献を果すべく各種の公益及び共益活動に取り組むとして、以下が主要な活動となる。

- ① 2011 ジャパンペットフェアの実施
  - ② ペット用品統一表示ガイドライン第2期策定分「表示事項の自主基準」編の作成
  - ③ ペット用品取扱士検定試験の実施
  - ④ ペットとの共生推進協議会設立及び活動の開始
  - ⑤ JP-NEXT での経営研究と次世代育成事業の実施
  - ⑥ (1)省庁、関係団体との関係強化・推進
  - ⑦ ペットの効用についての啓蒙活動その他
- この後、柳原実行委員長からの2011 ジャパンペットフェアへ出展のお願い、質疑応答を経て総会は無事終了した。

## 会員証、入会案内一新、 8月完成

会員増強委員会は、会員証と入会案内のリニューアル作業を行っているが、いずれも8月完成の運びとなった。現会員証は1995年に作製したもので、新入会員の増加もあり、この程作りかえ現会員全員に配付することに



新会員証のサンプル

なった。主に会員増強用ツールとして活用する入会案内は、一般社団法人化前に作製したもので、組織の変更と合わせて事業内容の変更もあり再作成となって準備を進めているものである。

## 広報誌・四季号発刊へ 第2号冬号は2011年1月予定

新規事業検討委員会で編纂している「JPPMA広報誌」創刊号が発刊された。編纂の主幹を務める同委員会・高野怜委員長は

「準備を進めてきた広報誌が発刊できました。本誌は創刊1号で記事内容については吟味しつつ当会の広報誌と業界全般に配付していきます。JPF、ペット用品統一表示、ペット用品取扱士検定制度など業界関係者に告知すべき情報をまとめ、わかりやすく伝えてまいります」と説明している。

## ホームページもリニューアル 一新して9月より公開

現在公開中のJPPMAホームページは、入会案内と同様一般社団法人化前に作製したもので、組織の変更と合わせて事業内容の変更、さらに最新システムの導入により、アクセス数を増やし、閲覧しやすい内容に一新した。もあり再作成となって準備を進めているものである。以下は主なコンテンツ。

- ・ペット用品統一表示ガイドラインの情報
- ・ペット用品取扱士検定制度試験の案内
- ・ホームページ内メルマガシステム構築
- ・新製品とキャンペーン最新情報
- ・2011JPF 最新情報
- ・コラム
- ・その他

## ペット用品統一表示ガイドライン 第2期策定事業進む

第1期の「表示項目編」から一步踏み込んだ「表示内容編」の第2期策定準備に入った。犬猫小委員会、観賞魚・爬虫類小委員会ならびに小鳥・小動物

小委員会の小委員会にて、「表示内容」の取り決めが可能対象品目を選択する作業を開始した。

この中で、ガイドライン対象品目である犬猫製品・散歩用品類に「リール式リード」を追加した。

また、国民生活センターからの「ヒータ誤使用問題の解消」要請に対する取り組みを行った。そのひとつとして昨年秋、製品評価技術基盤機構の指導・協力を得て、勉強会の開催、啓蒙ポスターを作製した。

犬用リード断絶事故（非会員）発生により安全性に対する取り組みもした。

具体的には、まず断絶事故のないよう会員各社の強度を点検したこと。その結果、国民生活センターが示す耐久強度基準の3倍以上であった。

これに基づいて、JPPMAでは耐久強度基準の3倍以上の製品に対して「本品は一般社団法人日本ペット用品工業会(JPPMA)の推奨する強度基準を満たしています」との統一表示を決めた。

## 適合マークの使用登録500社を目指し 解説書・使用マニュアルを制作

昨年2月、「ペット用品統一表示ガイドライン表示項目編」が完成、同ガイドラインの遵守企業に対して適合マークの使用を実施してきた。業界告知に合わせて一般への告知の実施に伴い、適合マーク使用マニュアルの制作を決定。

「ペット用品統一表示ガイドライン」及び同表示マークを広く知ってもらうこと、同事業への参加企業を増やすことを目的としたもので、製造・輸入業者、卸業者、小売業者に8月配付される。



↑標準仕様・カラー版  
↓標準仕様・単色版



左は簡易仕様・カラー版  
右は簡易仕様単色版

## 第1回ペット用品取扱士(略称P.G.M) 検定試験、来年3月、JPF会場で実施

新規事業として準備を進めている「ペット用品取扱士」資格検定試験を、2011年3月実施の2011ジャパンペットフェア会場(幕張メッセ)において第1回目を実施することになった。

この資格検定試験は、製品開発、流通ならびに販売現場における技術・知識の向上と業界人としての地位の向上と、ペット用品の誤使用予防、適正的確なペットオーナーへの指導やサポートを行うことを目的としている。

また、販売現場での指導の意味からペット用品の知識を修得する事は一般ユーザーに好ましく、煩雑なインターネット等による情報等によって、ユーザーが間違った知識を信じているケースも少なくないため、メーカー側から一般ユーザーに対して正しい情報を発信する上からも意義ある制度である。

3級=7カテゴリー全てを網羅した内容

2級=3カテゴリー(犬・猫、観賞魚・爬虫類、小鳥・小動物・昆虫)別に実施。

1級=7カテゴリー別に行う。

また、検定試験対象者は以下の通り。

- ①メーカー：マーケティング・商品管理・企画開発・営業担当者他
- ②流通：仕入・商品管理・企画・営業担当者他
- ③小売店：マネージャー・バイヤー・売場担当者他
- ④専門学校：生徒
- ⑤その他一般

なお、ペット用品取扱士の英名をPet Goods Master 略称P.G.M)とし、シンボルマークを作成する予定。

## 第9回ペット用品の産業実態統計調査実施

統計委員会は22年度に実施するペット用品産業実態調査についての概要を発表した。この中で、調査方法については、

- (1) 経済産業省に協力を得て、確かな統計データづくりを目指す。
  - (2) 卸業者、小売業者、マーケット調査会社、業界誌等との情報交換での精査を行う。
- の2点を柱に進めることとしている。

## 10月13日 第4回経営研究会開催 人材育成のための講演会など多彩な企画

次世代の指導者育成のための各種活動を行うJP-NEXT部会は10月13日、第4回経営研究会を実施、講演会講師には二神軍平氏(ユニ・チャーム副社長)を招いて実施すると発表した。

前回第3回経営研究会は3月5日、大阪道頓堀ホテルにおいて43名の参加で行われた。講師に三

木尚子氏を招いての講演会は、「心の距離を近づける、コミュニケーション能力アップ」をテーマに行われ、その後参加者による交流と親睦が図られた。

なお、第5回経営研究会は23年3月にする予定である。



## 2011ジャパンペットフェア開催説明会 150名が参加

「見つけようペットと暮らす喜びを」をテーマに準備を進めている2011ジャパンペットフェア。4月にはペット関連関連企業を対象に、東京と大阪で開催説明会を東京、大阪に会場で実施。同会場で日本語、英文語版の出展募集案内を配付した。

この開催説明会では、出展をより効果的に意義あるものとするためのポイントを解説する講演会「実益重視の展示会出展ノウハウ～効果を最大限に引き



出す出展のポイント〜」を特別企画として実施した。この講演内容は、展示会を戦略的な「顧客獲得手段」として捉え、その効果を最大限引き出すためのノウハウを紹介したもの。講師は飯野健二氏。企業の展示会出展に関する企画・コンサルティング会社・ステラ・エキシビジョン・パートナーズ株式会社の代表。開催説明会会場に150名の参加者があった。

## 出展企業絶賛募集中 「JPFカップ」デザイン完成

「見つけようペットと暮らす喜びを」をテーマに準備を進めている2011ジャパンペットフェアのメイ

ペット業界のさらなる発展と、マーケットの拡大を図り開催!

出展のご案内



会場を華やかに彩り、心酔一筋、さらに魅力的なフェアを開催します。会場より会場まで、さまざまな展示ブースやイベントを開催し、さらなる発展と、マーケットの拡大を図り開催!

25周年  
ペットの普及と正しい飼い方を啓蒙し、ペットビジネスを支援する  
ジャパンペットフェア

主催 一般社団法人 日本ペット用品工業会  
協賛 一般社団法人 全国ペットフード・用品卸商協会  
協賛 一般社団法人 ペットフード協会  
協賛 一般社団法人 日本ペット用品工業会



ンイベントの一つ、「JPFカップ」のデザインが決定公表された。このイベントは犬のタイムトライアル、金魚すくいタイムトライアルなどいろいろなペットのコンペティションの優勝者に授与するもので、飼い主とペットがより早く、より強く、より美しくに挑戦する。

## ペットとの共生推進協議会 設立へ最終段階へ

ペット関連団体の横断組織ともしうべきペット産業連絡協議会改め「ペットとの共生推進協議会」設立に向けて最終段階を迎えた。

今年1月から一般社団法人日本ペット用品工業会は、ペット産業連絡協議会呼びかけ会として準備活動に入り、日本全国のペット関連団体の調査を行い、約20団体に選定し、趣意書案を作成し、各団体に参画への呼びかけを行った。

そして第1回目の打合せ会議を2月9日開催。この会議には12団体20名参加し、一般社団法人日本ペット用品工業会から会議開催の趣旨説明を行い、概ね賛同を得た。第2回目の会議を4月5日開催。会の名称を「ペットとの共生推進協議会」すること。設立テーマを各団体の共有問題を集約した以下3項目に沿って事業活動を検討することになった。

1. いかにかにペットが人間にとって大切かを啓蒙。
  2. 人の高齢化での飼育問題とその有効な手段の検討。
  3. 生体の健全な安定供給体制への協力・支援。
- いずれも研究調査及び告知活動が中心となる模様。

7月6日の第4回めの会議では、設立のための趣意書案、収支予算案の検討が行われ、設立に向けての準備に入ることが確認された。次回8月24日の会議では役員構成の検討に入る。

なお設立までの世話役団体として  
一般社団法人 全国ペットフード・用品卸商協会  
一般社団法人 ペットフード協会  
一般社団法人 日本ペット用品工業会  
の3団体が選任されている。

発行者 一般社団法人 日本ペット用品工業会会報  
JPPMA Breifs 創刊号  
発行日 平成22年7月31日  
発行人 一般社団法人 日本ペット用品工業会  
〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町48  
電話 03-5298-7722 fAX03-5298-7724  
編集人 組織強化部会広報誌制作委員会  
委員長 高野 怜  
委員 滋野 実(アドバイザー)  
事務局 松本純一  
神田裕子